

女性の活躍推進について

【提案先】 内閣府

1. 提案項目

(1) 「日本の未来を創る女性活躍応援基金」創設への支援

- 女性の潜在的な力を活用することは成長戦略の原動力である
女性の一層の活躍に向け、女性の活躍への支援を加速し、地域の実情に応じた取組が継続的に行えるよう、「日本の未来を創る女性活躍応援基金」の創設に向けての支援

◆基金による事業例

- ・女性の就労トータルサポート事業(滋賀マザーズジョブステーションの運営による就労支援および女性のチャレンジ支援事業による起業支援)
- ・意識啓発、実践講座等
- ・キャリア教育
- ・中小企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組促進
- ・活躍する女性の交流機会の創出
- ・女性活躍推進企業認証制度 など

(2) 女性の活躍推進に関する調査・分析、情報提供等の実施

- 地域の実情に応じた取組が効果的・効率的に推進されるよう、女性の活躍推進を阻害する要因について調査・分析するとともに、各都道府県等の取組について情報収集・情報提供（男性育児休業取得率の都道府県別データなど）



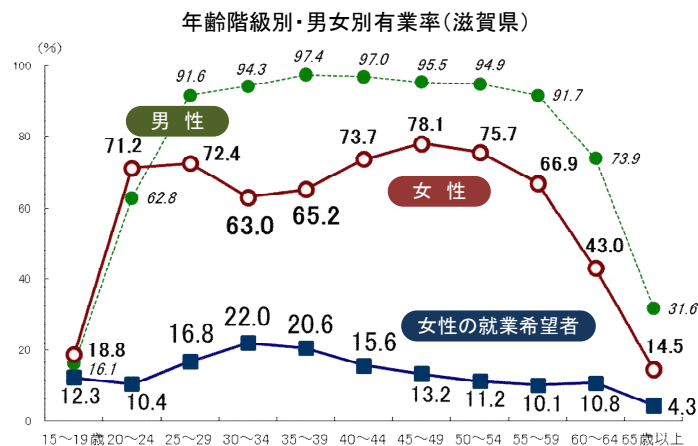
2. 提案の理由

- 少子高齢化の進展等、人口構造の変化が進む中、日本の労働力率は低下の見込み
- 女性は、「出産・子育て」と「仕事」との二者択一を迫られ、労働力率が30歳代を谷とする「M字カーブ」を描く
- 日本全体で女性の就業希望者は342万人、この力が発揮されれば約7兆円の新たな付加価値が創造
- 女性の活躍推進は、少子高齢化による労働力人口減少への対応にとどまらず、新たな雇用を創出するとともに地域経済を活性化する

(本県の取組状況と課題)

○背景

- ・女性は、仕事と子育ての両立の困難さ等を理由に継続就労が難しい状況にあることから、労働力率が30歳代を谷とする、M字カーブを描いている
- ・滋賀県の女性の労働力率のM字カーブの深さ順位は、全国39位(H22国勢調査)
- ・一方、多くの女性が就業を希望しており、日本全体で女性の就業希望者は342万人(H22労働力調査)
- ・滋賀県では、3万5千人にのぼる(H24就業構造基本調査：25～44歳女性)



出典：平成24年就業構造基本調査

○本県の取り組み

(1) CARAT^{カラット}滋賀・女性・元気プロジェクト

- ・進路選択や出産・子育て、再就労、起業、キャリアアップなどのライフステージにおいて、女性がいきいきと働く、暮らすことができるよう、切れ目のない、きめ細かな支援を行う「CARAT^{カラット}滋賀・女性・元気プロジェクト」を展開

(2) 滋賀マザーズジョブステーション

- ・出産や子育て等による離職後、再就職を希望する女性や仕事と子育ての両立に悩む女性、社会へ一歩踏み出したい女性を支援するために、県と滋賀労働局がそれぞれの特性を活かし、滋賀マザーズジョブステーションを県内2か所で運営

○課題

- ・女性の活躍推進は、地域経済の活性化に必要不可欠であり、本県を含め、全国で地域の実情に応じた多様な女性活躍推進施策等が継続して展開されることが必要